

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・新型コロナウイルスの影響により活動の縮小が求められ、高齢者の閉じこもりは一層すすんでいる。心身の機能が低下している方も多い。身近な場所での集いの場の拡充だけでなく、介護予防活動の普及啓発のために新たなアプローチ方法が求められている。→様々なプログラムやアプローチ方法を検討し、個人や小規模単位でも継続、習慣化できるような取り組みが必要である。

・消費者被害が区内でも多い地区である。→消費者被害防止の普及啓発を継続していく。

・「8050問題」「高齢者虐待」等、困難ケースが多い。→関係機関との連携を強化し、地域での見守りから包括に繋がる仕組みを作る。

・コロナ禍の為、地域活動や交流にも制約があり、人と人、地域との繋がる機会が少なくなっている。→新たな繋がり作りの為のシステム等を検討する必要がある。

・地域特性として障がい者の作業所が多く、地域カフェなどの連携が始まっている。→各自治会町内会と障がい者施設の特徴に合わせ、お互いに支えあう関係づくりが必要。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	身近に活動場所がなかったり、集えなかったりする時でも介護予防に取り組む事ができる様、資料、パンフレットの作成、配架、希望者への送付を行う。ホームページも活用しながら、その取り組みの普及を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コロナ禍で活動の縮小及び参加者の減少していた介護者カフェの内容をリニューアルして、認知症当事者と介護者の方の集いの場として再スタートさせ、活動を定着させる。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コロナ感染拡大防止に配慮しながら、地域のケアマネージャーと民生委員や医療機関(病院、薬局等)、障がい者施設等との連携方法を検討していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	自治会町内会役員、地域のキーパーソンにコロナ禍での地域状況や新たに感じているニーズについてのヒアリングを行い、停滞している活動への支援及び新しい活動の創出について検討していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	多くの方がICTを活用しコロナ禍での新しい繋がり作りができるよう、使い方講座や、Web会議ツール等を使用した講座を実施し、ICTの啓発を行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

閉じこもりがちな地域高齢者へ介護予防カレンダーや介護予防関連パンフレットの配布を行い、身近に活動場所がなかったり、集えなかったりする時でも介護予防に取り組む事ができる様取り組んだ。ホームページの充実も図り、介護予防事業への参加の促しに努めた。

介護者カフェのリニューアルに伴い、参加者の増加及び定着とプログラム内容の充実が図れた。介護者・当事者にとって、より主体的な活動となるよう支援すると共に、地域住民及び関係機関に対しての普及啓発を継続していきたい。

今年度はZOOMと会場でのハイブリット形式での研修会を開催した。参加人数を制限したり、グループワークではなく講義形式にしたりと、感染防止に努めながらコロナ禍でも出来る形式で開催した。CMとの同行訪問を出来る限り行い、顔の見える関係作りを作っていた。次年度も引き続き感染防止に努めながら開催形式を工夫して実施していく。

コロナ禍において活動を休止していた食事サービス団体や、地域カフェについて、活動状況や課題、新たに感じているニーズを共有する場を設け、それぞれの活動に活かしていただくことができた。

スマホの基本操作について学ぶ機会が欲しいとのご要望が多く有り、それぞれの機種の特徴に合わせた講座を地区社協と共催で実施。ICTの推進と共に地域福祉保健計画の地区目標推進に取り組む事ができた。

□ 区からのコメント

- ・地域の作業所や商店街等と連携を図り、地域がケアプラザの役割を理解し、一体となって活動を進められる関係作りに取り組んでいます。地域活動の担い手不足という大きな課題に対しては、引き続き地域人材の発掘・育成を目的として、働き・子育て世代を対象とした事業企画やICTを活用した情報発信、学校や多分野の事業者等とのネットワーク構築に努めてください。
- ・テレビドラマをきっかけに、令和4年度により注目を集めた旭区に縁の深い武将「畠山 重忠公」に関する自主事業を企画することで、これまでケアプラザを利用していなかった人のケアプラザ利用に繋がり、その後もボランティアとしてケアプラザに関わるなど、新しい担い手にも繋がりました。これまでにケアプラザを利用したことがない人達にケアプラザを知ってもらい、ひいては利用してもらうことは、鶴ヶ峰地域ケアプラザに限らず、全地域ケアプラザにとっての課題だと考えています。今回の事例は、一つのきっかけを活かし、新たな利用者へと繋がった好事例かと思しますので、是非他のケアプラザにも共有いただきたいと思ます。また、今後は地域活動交流Co連絡会等で、上記課題について取り上げ、区・13CPで取り組んで行ってもらいたいと思ます。
- ・変則勤務かつ多忙な中、定期的な会議以外にも日常的に5職種間での情報共有を実施し、各種事業等企画の検討や個別課題の対応について相談が出来る体制は個別支援、地域支援をしていく上の大きな強みです。引き続き多職種が連携して地域づくりや個別支援に取り組んでください。

令和4年度横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>(1)介護保険サービス利用の相談を受けた際に、相談者が幅広い選択肢の中から、居宅介護支援事業所やサービス事業所を選定できるように、旭区ケアマネジャー空き情報、ホームページ等で居宅介護支援事業所に関する情報を提供します。</p> <p>(2)年1回、地域ケアプラザにおける自己評価アンケートを実施し、自主事業参加者や介護予防支援利用者、地域包括支援センター相談者等から、公正中立な対応についての評価をいただき、事業運営に反映させています。</p> <p>(3)公正・中立の立場からの意見・調整を行う第三者委員制度を法人内に設置し、適切な苦情解決に繋がる体制を整備しています。</p>	<p>(1)法人で実施する個人情報保護・情報セキュリティ研修を職員が受講するとともに全職員に向け所内研修を実施します。</p> <p>(2)情報事故の起き易いデイサービスの記録書や連絡帳等の取り扱いは、ルールに則った上で必ずダブルチェックを行います。</p> <p>(3)郵送・FAX時もダブルチェックを行うとともに、個人書類の受渡しチェック表を活用し、いつ、誰が、何を、受け取り、渡したかが分かるようにします。</p> <p>(4)事故防止の為に危険予知訓練の研修を行うとともに、全体会議等で実際に発生した事故やヒヤリハットの振り返り、再発防止に向けての検討を行います。</p> <p>(5)事故に至らなかったヒヤリハットを所内で共有する事で同様の事故の防止に役立てます。</p> <p>(6)万一、事故や苦情が発生した際は、速やかに事実を確認し、当事者への謝罪や報告を行い、丁寧な対応を行います。同時に関係機関への報告も速やかに行います。</p>
実績	<p>(1)介護保険サービス利用についての相談を受けた際には、幅広い選択肢の中から、相談者のニーズに合わせて事業所を選択できるように旭区ケアマネジャー空き情報の提示やホームページ等で事業所に関する情報を提供しました。</p> <p>(2)地域ケアプラザにおけるアンケート等を通して、自主事業参加者、介護予防支援利用者、地域包括支援センター相談利用者等から、公正中立な対応が行われている旨の評価をいただきました。</p> <p>(3)公正・中立の立場からの意見・調整を行う第三者委員制度を法人内に設置し、適切な苦情解決に繋がる体制を整備しました。</p>	<p>(1)法人で実施する個人情報保護・情報セキュリティ研修を受講、受講した職員が所内で伝達研修を行いました。</p> <p>(2)デイサービスの記録書や連絡帳等の封入は、ルールに則った上で必ずダブルチェックを行いました。</p> <p>(3)郵送・FAXについてもダブルチェックを行うとともに、個人書類の受渡しチェック表を活用し、いつ、誰が、何を、受け取り、渡したかが分かるようにしました。</p> <p>(4)事故防止の為に危険予知訓練の研修を行うとともに、全体会議等で実際に発生した事故やヒヤリハットの振り返りを行いました。</p> <p>(5)事故防止の意識を高められるようにヒヤリハットを所内で共有しました。</p> <p>(6)事故や苦情が発生した際は、速やかに事実を確認し、当事者への謝罪や報告を行いました。また、関係機関へ速やかに報告しました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>・専門職として誠意を持って業務遂行すると共に、公正中立な立場から支援をします。</p> <p>・常にお客様の立場に立ち、ご本人の意思及び人格を尊重すると共に、適切な介護予防計画の立案に努めます。</p>	<p>・お客様のニーズに対し、早期対応を可能にするため体制づくりをします。</p> <p>・お客様、ご家族様に寄り添い、適切な支援を通じ、信頼関係を構築します。</p>
職員体制	保健師兼管理者1名(常勤兼務) 保健師1名(常勤兼務)主任ケアマネジャー1名(常勤兼務) 社会福祉士1名(常勤兼務) 居宅介護支援専門員 5名(非常勤兼務1名専従4名)	管理者1名(常勤兼務) 居宅介護支援専門員3名(常勤専従) 1名(非常勤兼務)
契約者数	269	112

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	・お客様と介護者様、それぞれの思いを大切に、気持ちに寄り添う支援を行います。感染対策を行いながら、安全に過ごせる時間を提供します。	・お客様がご自分らしく過ごせる環境と、介護者様が安心して介護を委ねられる場所を目指します。	
実施体制	【実施日数】359日(12/29～1/3以外) 【提供時間】日～土(祝も含む) 9:30～16:30 【定員】 35名	【実施日数】359日(12/29～1/3以外) 【提供時間】日～土(祝も含む) 9:30～16:30 【定員】 12名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	昼食代 750円 当日キャンセル代 500円	昼食代 750円 当日キャンセル代 500円	
職員体制	管理者1名(常勤兼務)・相談員6名(常勤兼務)・看護職10名(非常勤兼務)・機能訓練指導員10名(非常勤兼務)・介護職25名(常勤兼務6名、非常勤兼務19名)・調理員8名(非常勤専従)・運転手7名(非常勤専従)	管理者1名(常勤兼務)・相談員6名(常勤兼務)・看護職10名(非常勤兼務)・機能訓練指導員10名(非常勤兼務)・介護職25名(常勤兼務6名、非常勤兼務19名)・調理員8名(非常勤専従)・運転手7名(非常勤専従)	
契約者数等	【延べ利用者数】 9,184 【契約者数】 103	【延べ利用者数】 1,738 【契約者数】 26	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,131,714	3,844,298	19,976,012	19,975,112	900	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0	0	0	130,700	△ 130,700	
横浜市による運営支援		529,300	529,300	529,300	0	
雑入	0	0	0	229,836	△ 229,836	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	19,951	△ 19,951	
その他	0	0	0	209,885	△ 209,885	
その他	3,962,236	0	3,962,236	3,962,236	0	
収入合計	20,093,950	4,373,598	24,467,548	24,827,184	△ 359,636	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,321,950	0	12,321,950	9,352,140	2,969,810	
本俸	9,756,767	0	9,756,767	6,362,872	3,393,895	
社会保険料	942,415	0	942,415	910,723	31,692	
手当計	1,353,629	0	1,353,629	1,859,405	△ 505,776	
健康診断費	63,607	0	63,607	37,583	26,024	
勤労者福祉共済掛金	9,148	0	9,148	7,506	1,642	
退職給付引当金繰入額	191,186	0	191,186	166,876	24,310	
その他	5,198	0	5,198	7,175	△ 1,977	
事務費	900,000	0	900,000	1,133,340	△ 233,340	
旅費	2,500	0	2,500	7,543	△ 5,043	
消耗品費	200,000	0	200,000	118,726	81,274	
会議費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	89,000	0	89,000	112,945	△ 23,945	
通信費	265,212	0	265,212	241,841	23,371	
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560	0	10,560	10,560	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	10,973	△ 10,973	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	25,981	0	25,981	26,586	△ 605	
職員等研修費	70,000	0	70,000	2,038	67,962	
振込手数料	40	0	40	0	40	
リース料	218,707	0	218,707	45,387	173,320	
手数料	18,000	0	18,000	10,915	7,085	
地域協力費	0	0	0	8,750	△ 8,750	
その他	0	0	0	537,076	△ 537,076	
事業費	1,500,000	0	1,500,000	273,216	1,226,784	
運営協議会経費	0	0	0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	1,500,000	0	1,500,000	273,216	1,226,784	
その他	0	0	0	0	0	
I C T整備費（追加）	0	200,000	200,000	199,100	900	
I C T整備費（追加）	0	200,000	200,000	199,100	900	
サニタリーボックス（追加）	0	15,000	15,000	9,639	5,361	
サニタリーボックス	0	15,000	15,000	9,639	5,361	
管理費	4,898,000	0	4,898,000	9,640,808	△ 4,742,808	
光熱水費	1,935,916	0	1,935,916	6,384,305	△ 4,448,389	
清掃費	1,842,566	0	1,842,566	1,842,566	0	
機械整備費	118,254	0	118,254	118,254	0	
設備保全費	1,001,264	0	1,001,264	975,970	25,294	
空調衛生設備保守	302,261	0	302,261	302,261	0	
消防設備保守	49,273	0	49,273	49,273	0	
電気設備保守	331,539	0	331,539	331,539	0	
害虫駆除清掃保守	19,709	0	19,709	19,709	0	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	298,482	0	298,482	273,188	25,294	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	319,713	△ 319,713	
修繕費	474,000	2,847,198	3,321,198	3,321,198	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	782,100	782,100	782,100	0	
支出合計	20,093,950	3,844,298	23,938,248	24,711,541	△ 773,293	
差引	0	529,300	529,300	115,643	413,657	

自主事業費 収入	0	0	0	130,700	△ 130,700	
自主事業費 支出	1,500,000	0	1,500,000	273,216	1,226,784	
自主事業 収支	△ 1,500,000	0	△ 1,500,000	△ 142,516	△ 1,357,484	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	19,951	△ 19,951	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
--------------------	---	---	---	--------	----------	----------------------

令和4年度「横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,378,850	207,900	29,586,750	29,460,750	126,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000	0	5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	99,200	△ 99,200	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	
横浜市による運営支援		147,000	147,000	147,000	0	
雑入	0	0	0	150,903	△ 150,903	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	19,945	△ 19,945	
その他	0	0	0	130,958	△ 130,958	
その他	2,418,000	0	2,418,000	2,418,000	0	
収入合計	37,752,850	354,900	38,107,750	38,231,853	△ 124,103	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,988,850	0	33,988,850	33,511,466	477,384	
本俸	20,851,909	0	20,851,909	18,585,855	2,266,054	
社会保険料	3,368,899	0	3,368,899	4,552,102	△ 1,183,203	
手当計	9,081,010	0	9,081,010	9,489,344	△ 408,334	
健康診断費	35,018	0	35,018	44,157	△ 9,139	
勤労者福祉共済掛金	27,760	0	27,760	34,506	△ 6,746	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	617,689	0	617,689	801,000	△ 183,311	
その他	6,565	0	6,565	4,502	2,063	
事務費	480,720	0	480,720	1,573,676	△ 1,092,956	
旅費	10,000	0	10,000	29,204	△ 19,204	
消耗品費	100,000	0	100,000	183,625	△ 83,625	
会議ठीい費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	73,458	0	73,458	121,131	△ 47,673	
通信費	100,000	0	100,000	528,099	△ 428,099	
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560	0	10,560	10,560	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	10,973	△ 10,973	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	25,982	0	25,982	26,586	△ 604	
職員等研修費	40,000	0	40,000	26,551	13,449	
振込手数料	320	0	320	0	320	
リース料	120,000	0	120,000	45,388	74,612	
手数料	400	0	400	10,890	△ 10,490	
地域協力費	0	0	0	28,750	△ 28,750	
その他	0	0	0	551,919	△ 551,919	
事業費	1,855,280	0	1,855,280	1,033,319	821,961	
協力医	630,000	0	630,000	504,000	126,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	750,000	0	750,000	369,071	380,929	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000	0	154,000	149,463	4,537	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	321,280	0	321,280	10,785	310,495	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
管理費	1,302,000	0	1,302,000	2,562,737	△ 1,260,737	
光熱水費	514,620	0	514,620	1,697,093	△ 1,182,473	
清掃費	489,795	0	489,795	489,795	0	
機械警備費	31,434	0	31,434	31,434	0	
設備保全費	266,151	0	266,151	259,428	6,723	
空調衛生設備保守	80,345	0	80,345	80,345	0	
消防設備保守	13,097	0	13,097	13,097	0	
電気設備保守	88,128	0	88,128	88,128	0	
害虫駆除清掃保守	5,239	0	5,239	5,239	0	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	79,342	0	79,342	72,619	6,723	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	84,987	△ 84,987	
修繕費	126,000	0	126,000	126,000	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	207,900	207,900	207,900	0	
支出合計	37,752,850	207,900	37,960,750	39,015,098	△ 1,054,348	
差引	0	147,000	147,000	△ 783,245	930,245	

自主事業費 収入	0	0	0	99,200	△ 99,200
自主事業費 支出	560,000	0	560,000	529,319	30,681
自主事業 収支	△ 560,000	0	△ 560,000	△ 430,119	△ 129,881

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	19,945	△ 19,945	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	9,385	△ 19,945	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	14,553	15,396	-843	21,659	20,149	1,510	104,355	98,783	5,573	39,470	29,199	10,271
	その他	0	0	0	1,378	1,089	289	1,007	677	330	0	7	-7
	事業・負担金収入	0	0	0	892	611	281	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	486	478	9	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	1,007	677	330	0	7	-7
	収入合計(A)	14,553	15,396	-843	23,037	21,238	1,799	105,362	99,460	5,902	39,470	29,206	10,264
支出	人件費	7,257	7,693	-436	18,600	18,292	308	81,482	85,915	-4,434	24,189	24,547	-358
	事務費	5,651	6,056	-405	1,629	1,468	161	10,970	10,593	377	3,042	2,515	527
	事業費	0	0	0	37	32	5	10,205	8,535	1,669	2,710	2,660	50
	管理費	0	0	0	0	0	0	5,433	4,878	555	1,334	923	411
	その他	0	0	0	0	0	0	768	352	416	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	768	352	416	0	0	0
	支出合計(B)	12,908	13,749	-841	20,266	19,792	474	108,858	110,274	-1,416	31,275	30,645	630
	収支(A)-(B)	1,645	1,646	-1	2,771	1,446	1,325	-3,496	-10,814	7,318	8,195	-1,440	9,635

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ママとベビーヨガ	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①親子の心身の健康の維持 ②交流の場の提供、子育ての情報提供 ③親子のリフレッシュの機会の確保	3:養育者及び乳幼児		母親の健康維持やリフレッシュにも焦点を当てた親子ヨガ教室。	8	42
2	鶴ちゃん喫茶	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①精神障害がある方々の仲間づくり支援 ②地域の作業所や民生委員等関係機関との連携	2:障害児・者		お話・交流会 毎月第1水曜日	12	51
3	カルチャー広場	平成13年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②趣味活動の機会を作り、生活に意欲を持てるよう支援 ③ボランティアの育成	5:地域		・地域の方を対象に開催 ・講師を地域のボランティアの方に依頼し開催。	14	88
4	親子体操	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①ケアプラザ機能の周知 ②子育ての不安、負担の減少 ③母親同士の仲間づくり支援 ④関係機関との連携	3:養育者及び乳幼児		体育協会に講師を依頼し、親子で出来る体を使った遊びを学ぶ。	1	8
5	畠山重忠公史跡めぐり	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②趣味活動の機会を作り、生活意欲が持てるよう支援 ③閉じこもり・介護予防	1:高齢者		・旭ガイドボランティアやウォーキングアドバイザーを講師として、地元ゆかりの「畠山重忠公」の史跡をめぐる。 ・4、5月に開催	3	27
6	離乳食講座	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①食育 ②子育ての不安、負担の減少。 ③母親同士の仲間づくり ④相談機関としてのケアプラザの機能周知	3:養育者及び乳幼児		りぼんの会秋山管理栄養士に講師を依頼、6ヶ月～1歳の乳幼児を対象とした離乳食の講義、実際の作り方のデモンストレーションを企画する、新型コロナウイルスの感染拡大の為中止となる。	0	0
7	ギャラリーA to Z	平成15年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	①ケアプラザ機能の周知 ②交流の場の提供 ③趣味活動の機会を作り、生活に意欲を持てるよう支援 ④ボランティアの育成	5:地域		・1F情報ラウンジに作品の展示。 ・来館者の意見を聞き取り、次回の展示内容の参考となるよう努める。	8	0
8	かるがもサロン	平成17年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①親子の心身の健康の維持 ②交流の場の提供、子育ての情報提供 ③親子のリフレッシュの機会の確保 ④関係機関とのネットワーク作り	3:養育者及び乳幼児		・鶴ヶ峰地区 保健活動推進員による親子の居場所作りサロン。 ・手遊びやパネルシアターを実施。 ・毎月第1木曜日	10	178
9	ふれあいサロン	平成17年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②健康の促進や維持 ③趣味活動の機会を作り、生活に意欲を持てるよう支援	1:高齢者		・鶴ヶ峰地区社会福祉協議会主催の居場所づくりサロン。 ・太極拳、社交ダンス、囲碁将棋などのプログラムを実施。 ・毎月第1・3・4 金曜日	33	764
10	えくぼ教室	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①概ね2～4歳児の親子で、特に障がいがある疑われる幼児や育児不安の強い養育者への育児支援と発達援助 ②さまざまな経験の中で発達を促し、学習と交流の機会の場となるよう支援	3:養育者及び乳幼児		・福祉保健センターと連携して開催。 手遊び、リズム遊び、育児相談等を実施。 ・クリスマス等季節感を取り入れた特別プログラムを提供。	33	346
11	語り部サロン	平成14年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①意欲向上と自己表現の場 ②外出と交流の機会の開催 ③ボランティアの育成	1:高齢者		・参加者は絵本や民話を読み合い、昔を回想するなどコミュニケーションを図る。 ・ボランティアは高齢者の聞き役としてコミュニケーションの活性化を支援。	11	64
12	はじめてのプログラミング講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①夏休みの居場所作り ②ネット環境の普及啓発 ③ケアプラザ機能の周知	4:子ども・青少年		プログラミングの仕組みを知る。 パソコンや、キーボードに触れる機会を提供し、夏休みの自由課題の機会にできるよう支援する。	2	18
13	スマートフォン使い方講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①オンライン環境の普及啓発 ②ケアプラザ機能の周知 ③ボランティアの育成 ④交流の場の提供	5:地域		・スマートフォンの基本操作やLINE・zoomなどのオンラインの使い方を学び、コロナ禍の新しい繋がり作りの一助とする。	6	32
14	百人一首を通じて美しい文字を学びましょう	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①ケアプラザ機能の周知 ②交流の場の提供 ③趣味活動の機会を作り、生活に意欲を持てるよう支援 ④ボランティアの育成	5:地域		百人一首を通じて美しいひらがなの書き方を学ぶ。	12	58
15	認知症サポーター養成講座	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域で認知症の方やその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域づくりを進める ②認知症についての理解啓発	5:地域		地域住民を対象とした認知症理解の為の講座。 講師は、旭区ひまわりの会に依頼する。	1	92
16	鶴ヶ峰小学校3年生 福祉教育	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①ケアプラザ機能の周知 ②福祉教育プログラムの提供 ③高齢者や障がい者への正しい理解の啓発	7:その他		・ケアプラザ機能についての紹介 ・認知症サポーター養成講座 ・ケアプラザ(通所介護)との交流など、年間を通して実施。	5	276
17	歴史講演会	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②趣味活動の機会を作り、生活意欲が持てるよう支援 ③閉じこもり・介護予防	5:地域		・地域にゆかりの武将や史跡についての講話。 ・講師を横浜市八雲殿郷土資料館に依頼する。	3	60

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1: 高齢者	2: 障害児	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)				4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	書初め教室	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	①ケアプラザ機能の周知 ②交流の場の提供 ③ボランティアの育成	5: 地域		小学生を対象として開催。正しい筆の持ち方・姿勢等を学ぶ。冬休みの課題に取り組む機会となるよう支援する。	2	11
19	ボランティア宛ご挨拶ハガキ	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	①ケアプラザとの繋がりの継続 ②ボランティアへのモチベーションが維持できるように支援	7: その他		コロナ禍で活動に繋がらない登録ボランティアの方達との繋がりを絶やさないよう、定期的にお便りを送る。	5	114
20	ボランティア交流会	平成14年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	①ボランティア同士の交流の機会の確保 ②仲間づくり支援	7: その他		ケアプラザに登録し活動して下さっているボランティア同士の交流・連携作りを目的とした会食・交流会。コロナ禍の為開催せず、代わりに定期的には季節の挨拶ハガキを郵送し繋がりが作りに務めた	0	0
21	鶴ピカ大作戦	平成21年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	①福祉活動団体(団体Ⅱ)のボランティア活動の場の提供 ②食中毒の予防	7: その他		団体Ⅱに参加して頂き、多目的ホール・ボランティアルーム・地域ケアルーム・ロビー・下駄箱を清掃する。	8	71
22	自治会・町内会アセスメント	令和3年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	①自治会・町内会の役員もしくはキーパーソンにヒアリングを行い、コロナ禍での地域の状況、思いを聞き取る。 ②ヒアリングを行う中でコロナ禍でも行える活動を検討していく。	5: 地域		年間を通して、地域の役員やキーパーソン、地域住民から直接ヒアリングする。	4	5
23	おしゃべりカフェつるがみね再開に向けて	令和元年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	新型コロナウイルス感染状況を確認しながら、再開に向けて打ち合わせをする。	1: 高齢者		①生活支援コーディネーターの変更について挨拶、顔合わせをする。 ②定期的に打ち合わせを開催し、担い手の状況やモチベーションを確認しながら活動の再開へつなぐ。	2	5
24	中田カフェ再開に向けて	平成30年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	再開に向けて必要な情報を提供する。	1: 高齢者		①生活支援コーディネーターの変更について挨拶、顔合わせをする。 ②定期的に打ち合わせを開催し、担い手の状況やモチベーションを確認しながら、活動の再開へつなぐ。	2	7
25	川島町南町内会健康カフェ	令和元年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	①コロナ禍での運営支援 ②再開した活動の継続支援 ③地域住民による自主的な活動への移行	1: 高齢者		①新型コロナウイルス感染症予防のために、生活介護事業所ミコモの駐車場を利用する。 ②地域住民担い手による介護予防体操など。 ③管理栄養士による栄養相談。	7	91
26	鶴ちゃんページ更新	平成29年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	①地域住民、団体の意思を確認し、コロナ禍において必要な情報を地域に届けていく。 ②認知症予防、介護予防、孤立予防のきっかけ作り。	5: 地域		①生活支援コーディネーターの変更について挨拶し、顔合わせをする。 ②鶴ヶ峰地区の金融機関、医療機関、カフェなどに設置し、地域住民に広く見てもらえるよう努める。居宅ケアマネジャーに配布し、ケアマネジャーとの関係作りを進める。 ※令和4年度はコロナの影響により更新無しのため実施回数0回	0	0
27	介護者カフェ「カフェdeらん」	平成28年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・安心して介護者の抱える感情を表出できる場として開催します。 ・介護者相互の情報交換をしていきます。 ・介護者の休養やリフレッシュおよび役立つ社会資源について情報提供していきます。	7: その他		介護者や介護者OBを中心に介護者カフェを開催。茶話会、情報交換、勉強会を実施。毎月第4水曜日 年12回	12	123
28	鶴ちゃんコール	平成29年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・一人暮らしの方や福祉サービスに繋がっていない方に対する、見守りを目的とします。 ・地域福祉関係者等により、見守り電話を行い、ネットワーク構築を図ります。	1: 高齢者		・月2回の見守り電話の実施。 毎月第2・4火曜日	23	161
29	鶴の会議	令和3年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	・食事サービス団体(第1～第4鶴の会)が顔の見える関係性を構築し、必要な情報を共有することでコロナ禍からの活動再開という共通課題に役立てる。 ・鶴ヶ峰地区支え合い連絡会と繋がることができるよう調整する。	1: 高齢者		5月または6月に会議開催を調整中。また、必要に応じて随時。	3	23
30	さくら会	平成21年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・地域の仲間作りと交流の場の提供 ・フレイル状態、介護状態を予防し、健康寿命を延ばすための栄養の知識と実践について学ぶ場の提供	1: 高齢者		・管理栄養士による講義、実践。 毎月第3水曜日 年12回	12	111
31	コグニサイズを学ぼう	平成29年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・地域の仲間作りと交流の場の提供 ・認知症について正しい知識と予防について学び、予防を実践できる場の提供 ・介護予防に役立つ脳と体の運動と実践について学ぶ場の提供	1: 高齢者		・運動指導士による講義、実践(ログニステップ、コグニラダー、コグニウォーク等)。 毎月第1月曜日 年12回	12	142
32	みな元気旭グループ活動支援	平成22年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・みな元気旭グループを対象とした、グループ活動継続の支援	5: 地域		・ひまわり会(西川島町西部町内会館)、鶴ヶ峰本町いきいき生活講座(鶴ヶ峰本町会館)、小三長寿ランドゴルフ部(栢谷公園)の支援。	12	144
33	元気づくりステーション活動支援	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・元気づくりステーションを対象とした、グループ活動継続の支援	5: 地域		・栢谷公園健康クラブ(栢谷公園)、ローズサークル(東宮鶴ヶ峰アパート集会所)の支援。	1	9

■ 事業		■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者	
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）			3：養育者及び乳幼児	
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）			4：子ども・青少年	5：地域
				6：事業者	7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
34	つるがみね健康教室	令和2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・地域の仲間作りと交流の場の提供 ・健康寿命を延伸し、運動、口腔、栄養をはじめとした、介護状態を予防するための知識と実践について学ぶ場の提供	1：高齢者		・運動指導士、管理栄養士などを中心とした専門職を講師に招いた講座を実施。 毎月第2（もしくは第4）木曜日 日12回	12	164
35	介護予防カレンダー	令和2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・健康寿命を延伸し、介護状態を予防するための活動の普及啓発・促進 ・ケアプラザや地域で開催される介護予防事業への参加・継続の意欲の促進	1：高齢者		・ケアプラザで開催される介護予防事業をカレンダーとして一覧にし、事業参加者や地域の高齢者に配布する。 年12回 発行	12	450
36	介護予防活動グループ活動支援	令和2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・地域の介護予防活動グループを対象とした、グループ活動継続の支援	5：地域		・介護予防活動を行っているグループに対し講師を派遣しての講座の開催。 ・介護予防活動グループ連絡会の開催。	5	85
37	認知症をみんなで支えるまちづくり検討会@鶴ヶ峰地域ケアプラザ	平成24年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを地域の方々と考え取り組む。	5：地域		コロナで中止	0	0
38	アルツハイマーデー街頭キャンペーン	平成25年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・関係機関と共に地域住民へ認知症の啓発活動と相談窓口の周知をする。	5：地域		コロナで中止 →No.45オレンジデコレーションキャンペーン代替え	0	0
39	街頭オレオレ詐欺撲滅キャンペーン	平成25年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・消費者被害防止のための普及啓発 ・相談窓口（地域包括支援センター・横浜市消費生活総合センター）の周知 ・消費生活推進員、金融機関、旭警察署との連携	5：地域		コロナで中止 →No.46民生委員・地域住民のための消費者被害・詐欺予防講習会 代替え	0	0
40	終活講座	令和元年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・終活についての必要な知識について普及啓発 ・旭区版エンディングノートの普及啓発 ・地域包括支援センター社会福祉士の役割の周知	5：地域		・終活における必要な知識についての講演会 ・令和4年11月26日（土）	1	10
41	サンタクロース講座	平成27年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	①趣味を活かした仲間づくり支援 ②消費者被害防止 ③ボランティア活動の場の提供 ④関係機関（商店街など）との連携	5：地域		新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となる。	0	0
42	思い出がいっぱい	平成26年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①地域の仲間作り支援 ②認知症予防	1：高齢者		自分の生育を振り返り語り合うことで、認知症を予防する。	1	8
43	はじめのいっぽ	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①ひきこもり・とじこもりについての正しい理解。 ②地域住民の見守り、支えあい意識の向上 ③民生委員・ユースプラザなど支援関係機関との連携	5：地域		よこはま西部ユースプラザを講師に招き、引きこもりや閉じこもりを身近な問題として考えてもらうための切っ掛け作り講座	1	21
44	司法書士個別無料相談会	令和元年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	①地域住民のための、司法書士による成年後見制度・遺言・相続等の無料相談 ②総合相談事業からのケース相談 ③地域包括支援センターと専門職相談との関係づくり	5：地域		司法書士による個別相談会 令和4年11月26日（土） 令和5年1月28日（土） 令和5年3月25日（土）	3	11
45	オレンジデコレーションキャンペーン	令和4年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	①認知症をみんなで支える街づくり推進のための普及啓発。 ③旭区徘徊SOSネットワークシステムの周知 ④相談窓口の周知	5：地域		アルツハイマーデイにちなんだケアプラザ来館者による参加型キャンペーン ①オレンジガーデニング ②メッセージツリー 9/15～10/3	1	38
46	民生委員・地域住民のための消費者被害・詐欺予防講習会	令和4年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	①振り込み詐欺等の消費者被害防止についての普及啓発 ②相談窓口（地域包括支援センター・横浜市消費生活総合センター）の周知	5：地域		高齢者等の見守り活動を行う新任民生委員向けに、相談窓口としての地域包括支援センターの周知と共に、旭警察署とも連携して講習会を開催し、消費者被害防止について普及啓発に取り組む。	1	7
47	事業所訪問	平成25年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	福祉・医療・その他関係機関を訪問することで、連携しやすい関係性を構築する必要がある。	6：事業者		令和4年4月～令和5年3月 介護サービス事業所、医療機関・および地域関連機関への訪問	32	32
48	鶴ヶ峰・白根・左近山地域ケアプラザ合同ケアマネ連絡会	平成18年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域ケアマネジャーのスキルアップ、及び交流を目指して研修会をおこなう。	6：事業者		①令和4年5月24日成年後見制度について②令和4年7月19日ACPIについて③令和4年9月20日家族アセスメント④令和4年11月15日PTから学ぶ退院しても大切なリハビリ⑤精神障害の理解と支え方について	5	81
49	地域ケア会議	平成26年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう地域包括システムの構築を実現するため。	5：地域		①令和4年7月21日 自立・介護予防に向けた支援 ②令和4年12月8日 近隣トラブル、権利擁護 ③令和5年3月17日 包括レベル「地域で介護予防を支えるために自立を支援する福祉用具」	3	23
50	鶴ヶ峰地区高齢者福祉施設連絡会	平成24年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	グループホーム等の入居施設が多い地域特性を生かし、施設同士情報を共有し、ともに学びあう関係作りをしていく。	6：事業者		2022/8/29 小規模多機能型居宅介護ラウレアより、施設での取り組み事例発表	1	11

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
51	旭区居宅介護支援事業所主任ケアマネジャー交流会	平成29年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	主任ケアマネジャーの更新研修が開始されたこと、特定加算を取る要件の中にケアマネジャーの現任研修の実習生の受け入れ、管理者要件等、居宅支援事業所の主任CMも指導能力を求められている。後継者育成における立場としての意見、情報交換の場を設ける。	6：事業者		コロナのため中止	0	0
52	新任・就労予定ケアマネジャー研修会	平成18年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	就労予定新任ケアマネジャーに対して、研修・見学を実施することでケアマネジャーとしての実務開始がスムーズに行えるようになる。	6：事業者		①令和4年9月29日 ②令和4年10月17日 (現場実習)	2	9
53	医療と福祉の勉強会	平成21年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	エリア内の医療関係者と福祉関係者が一同に集まりいっしょに学ぶことでお互いの立場や共通認識を構築することが出来る	6：事業者		令和4年12月15日 薬剤師による居宅療養管理指導について	1	16
54	『ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ』を活用した地域アセスメント	令和4年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビの公開に向けて、住民主体で取り組んでいる地域活動団体へ、説明と同意取得の作業を通して地域アセスメントをする。	5：地域		住民主体で行われている「交流・居場所」「生活支援」「見守り・つながり」に該当する団体へ、『ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ』について説明し、同意を得る作業を通して地域の皆さんから情報を得てアセスメントにつなぐ。	15	70
56	みんなde元気ダンス！	令和4年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・地域の仲間作りと交流の場の提供 ・認知症について正しい知識と予防について学び、実践できる場の提供 ・介護予防に役立つ脳と体の運動と実践について学ぶ場の提供	1：高齢者		・介護予防ダンス協会講師によるダンスを取り入れた介護予防体操・運動の実践 ・隔月(偶数月のみ)第4火曜日 年5回	5	40